

敬仁 新春号

~Keijin~

VOL.36 平成26年1月 発行

法人理念

- 1 テンダー ラビング ケア (tender loving care)
「愛」とは、誰かの心に希望の灯をともすことです
自分に何ができるかをまず考えることです
(日野原重明著 テンダーラブ より)
- 2 スローライフ
丁寧に考えること 誠実に対応すること

年頭のご挨拶

毎日があわただしく終わり、そんな日々を重ねながら気づくと、またまた1年が過ぎ去ろうとしている。これを書いているのは年末なのだが、頭の中を駆け抜けるひとつのメロデーがある。『さまざまな夢や出来事や希望を乗せて走り続け、そして走り去っていく列車よ』というような、アップテンポなメロディーがなぜか繰り返し私の頭の中を走り抜けるのだ。誰の曲か思い出せず・メロディーだけが駆け抜けていく。

老いていく頭は仕方ないので脇に置いておいて、新年の抱負です。

「継続する力」などと言う新書を購入しながらざっと読みで投げてしまう私。

物事のひとつひとつを丁寧にこなしていくこと、こつこつ継続する力を養うこと、などすべて私に欠けている面を改めて反省し見直してみたい年です。

ゆっくり丁寧に生きてみる。

今年の年賀状の図柄は、青地に白い馬の姿にしました。爽やかな美しさに魅かれました。

非常に個人的な新年の挨拶となっていますが、どうか、心洗われるような出来事のある一年でもありますように。

理事長 藤井 啓子



ル・ソラリオンに常勤医師着任



坂井直人先生

平成30年12月1日付で、医師の坂井直人先生がル・ソラリオンに常勤医師として着任されました。定員15名(ショートステイ含む)の入所ご利用者の健康管理体制が、更に充実することになります。ご専門は皮膚科で、アトピー性皮膚炎・アレルギー疾患・湿疹・皮膚真菌症などに精通されています。鳥取大学医学部付属病院などを経て、安来市の日立記念病院でご勤務されていました。毎週木曜日午後には、藤井政雄記念病院で診察をされます。

坂井先生より一言いただきました。

「新年あけましておめでとうございます。昨年12月より縁あって、介護老人福祉施設ル・ソラリオンに医師として着任しました。以前6年間、藤井政雄記念病院で勤務していました。この度は病院とは違う環境での仕事となります。慣れないこともあり、至らない点も多いとは思いますが、頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。」

特別養護老人ホーム、保育所 ル・ソラリオン綾瀬(仮称) 整備事業 工事着手



※保育所の玄関(南東側)より建物全体を臨む (完成予想図)

《安全祈願祭》

昨年10月25日、建設予定地において「社会福祉法人敬仁会(仮称)特別養護老人ホーム、保育所ル・ソラリオン綾瀬新築工事」の安全祈願祭が厳粛に執り行われました。

足立区では、現在約3,000名もの高齢者が特別養護老人ホームの入所待ちの状態であり、また約300名もの児童が待機児童として保育所の入所を待ち望んでおられます。

このような状況を踏まえ、藤井啓子理事長からは「ル・ソラリオン綾瀬は、敬仁会の特別養護老人ホームとして都内3施設目となります。当法人の介護サービスは、利用者・ご家族から高く評価頂いており、当施設も大きな使命を担っております。さらに、当施設は保育所併設であり、敬仁会がこれまで積み上げてきたノウハウにより良質な保育サービスを提供していき、足立区民の皆様のご期待に応えていきたい。」との挨拶がありました。

当法人では、皆様のご期待に十分に答えることができるよう、平成27年4月のオープンに向け、着々と確実に準備を進めて進めて参りたいと考えております。



《求人情報》

開設は来年4月ですが、看護師、介護職員、管理栄養士、介護支援専門員等で就労希望の方の受付は既に始めています。早期に就労可能な方は都内の介護老人福祉施設(葛飾区青戸または足立区西新井)で就労していただくことも可能です。まずは **0120-39-0451** までご連絡ください。

【建設地】	東京都足立区東綾瀬三丁目9番1
【事業概要】	介護老人福祉施設 … 160名
	ショートステイ … 24名
	デイサービス … 24名
	居宅介護支援事業所
	認可保育園 … 103名

障がい者グループホーム はあとハウス琴浦(仮称) 整備事業 工事着手

昨年11月30日、鳥取県東伯郡琴浦町徳万地内にて「はあとハウス琴浦(仮称)創設工事」の安全祈願祭が挙行され、本格的な工事に着手いたしました。

当法人では、障がいをお持ちの方が地域社会に安全・安心な生活を継続していけるよう、今後も利用者のニーズに応え、5~6名程度のグループホーム整備を積極的に推進していきたいと考えております。

【建設地】	鳥取県東伯郡東伯町徳万670番3
【建築建物】	木造平屋建 124.21㎡ 2棟
【利用者定員】	10名 (5名/1棟あたり)



多くの方が発表会に参加されました

サービス向上を目指して 施設研究発表会

昨年11月17日に、恒例の施設研究発表会が開催され、今年は17施設より1テーマずつ発表が行われ、ポスターセッションもありました。外部機関から発表会を聞きに来て下さる方も年々増えており、職員も良い緊張感に包まれながらの発表となりました。こちらでは発表内容の一部を紹介します。

お口から健康に
ル・サンテリオン東郷
菅谷友憲・前田明洋

【はじめに】

昨年度は、口腔ケアを確実に実施し誤嚥性肺炎を予防することができましたが、多職種との連携がとれておらず、専門的な指導を受けていませんでした。そこで今年度は、多職種との連携を図り、口腔機能の向上などを行うことにより、利用者のQOLの向上に繋がった取り組みをご紹介します。

【取り組みの方法】

- ・歯科医師による職員研修
- ・口腔ケアの重要性とその方法
- ・口腔内をアセスメント
- ・個々に合った用具・環境の見直し
- ・利用者にアンケート
- ・歯科医師や歯科衛生士、言語聴覚士に受診、各専門職に相談
- ・取り組み後に、再びアンケート

【結果】

事例1 O氏

以前はうがいをしていましたが、むせこみが見られ、また職員によりケアの方法が異なり、不安や疑問があり、歯科医師に相談し指導して頂き、安全に一したケアが実施できるようになりました。

事例2 M氏

夏頃より少しずつ、食事や水分にムセ、

飲み込みに時間がかかるようになり、声が出にくく、言葉数が減り、何事にも意欲がなくなり、食事時間以外は寝て過ごすことが多くなりました。そこで、ご自分では難しくなった口腔ケアを見直し、確実に実施することで口腔内の清潔が保て、少しずつ本人の意識も高まってきました。

同時に医師、看護師、栄養士、リハビリ課等、各専門職に状態を報告、相談し、内服薬、食事形態を見直しました。ST評価では、舌の動きが悪く、咀嚼嚥下機能が低下しているとのこと、舌を中心とした嚥下体操と、全体の機能向上を目的とした起き上がり咀嚼下体操の指導を受け、実践しました。

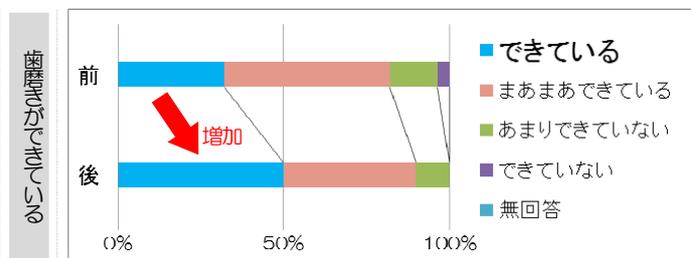
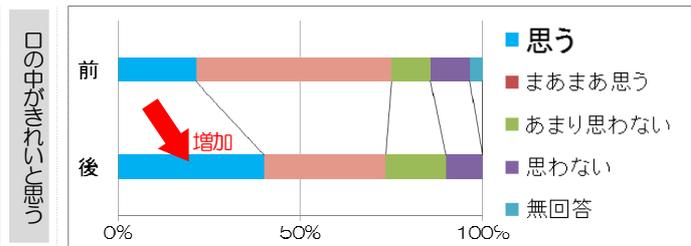
半月程で効果が現れ始め、1か月後には、舌の動きが改善され、しっかりと噛んで食事ができるようになり、咀嚼嚥下機能が向上し、栄養が摂れるだけでなく、体力が付き、自発的に活動に参加するようになり、自ら体を動かそうとする意欲が高まりました。

車椅子での移動から、歩行器歩行が可能となり、起居動作や排泄動作も、スムーズに行えるようになり、身体機能の向上、あれもしたい、これもしたいと行動力の向上に繋がりました。

毎朝のお化粧や、好きな絵を描いたり、以前の生活習慣を継続し趣味活動を行うていく中で、起きて過ごす時間が増え、皆さんとの会話が増え、表情が豊かになりました。

このように口腔ケアをきっかけに、QOLの向上がみられました。

【アンケート結果比較】



【考察】

多職種との連携を図り、専門的な指導を受けることで、職員が自信を持ち、チームで統一したケアを実施することができました。

職員、利用者個々の口腔ケアに対する意識が高まり、口腔内の清潔や口腔機能維持だけでなく、食生活の向上、身体機能の回復、会話などのコミュニケーション機能が回復し、QOLの向上に繋がりました。

お口から健康を創り、生活を豊かにするために、今後も継続し多職種との連携を図り、毎日の口腔ケアを見直していきたいと思えます。

厚生労働大臣表彰受賞！

『社会福祉事業・保育事業に永年従事し、同事業の発展向上に顕著な功績がある』と認定され、敬仁会から2名の職員が厚生労働大臣より表彰されました。名誉ある賞を受賞されたお2人の現在の心境を伺いました。



保育所 **ババール園**
園長 **山田美幸さん**



救護施設 **ゆりはま大平園**
施設長 **岡本登志夫さん**

この度、厚生労働大臣賞受賞を受け、感無量でございます。「子どもが大好き」との理由で保育士を目指し、長い年月を保育事業に携わってまいりました。保育環境が如何に変わっても「子どもは地球の宝もの」この気持ちを大切に今後も邁進したいと思います。

受賞にあたり、関係各位の方々、職場の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

私のような若輩者が、厚生労働大臣表彰という名誉ある賞を受けることになり感激です。この賞をいただけたのは、福祉の「ふ」も知らずに敬仁会に入った26年前より、時に叱責、時にお褒めと励ましで支え見守って戴いた諸先輩、同僚の皆様のおかげと感謝しております。又、何より26年間の最大の恩人である敬仁会に対し、心より感謝と御礼を申し上げます。

今回の受賞を新たな出発としてまた初心に戻り精進して参ります。今後よろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

家族・職員間の情報共有を

～ 平成25年度上半期 苦情解決委員会 ～



委員会開催の様子

なお、本年より第三者委員に左記の通り異動がありましたので、報告いたします。

【退任】 鈴木 茂 氏
【着任】 田中 俊幸 氏
(倉吉市民生児童委員連合協議会会長)

平成25年11月6日、第三者委員参加のもと、苦情解決委員会が開催されました。

■■■■ 第三者委員より ■■■■

- ・同じ言葉でも受け取り方にずれがあるということ。世代立場によつての受け取り方の違う、言葉の調子が違う等、コミュニケーションのギャップがあるということを認識しておいていただきたい。
- ・お褒めの言葉はよりステップアップするための課題。また、職員の意欲につながる。
- ・家族・職員間の情報の共有が不足している。事が起きた時の初動対応が重要。
- ・等々の意見をいただきました。

苦情の多さは「意見の吸い上げの仕組みが機能していることでもあるため、いただいたご意見をもとに、サービス向上・改善につなげていけるよう、意識して取り組んでまいります。

SON（スペシャルオリンピックス日本）鳥取 中部活動卓球スタート!!

スペシャルオリンピックス（SO）はアメリカのケネディ財団が立ち上げた、知的障がい者の方達がオリンピック形式のスポーツトレーニングと協議の場をとおして、体力の向上はもとより、「勇気の表現」「楽しみの経験」「友情の分かち合い」を提供する使命のもと活動を行っています。

現在、SON鳥取では鳥取県東部、西部で陸上、水泳、卓球、ボウリング等の活動が行われていますが、この度、中部地区においても1月8日より「卓球」競技が、ゆりはま大平園体育館に於いて活動開始致しました。

当日の中部スタート式のセレモニーには、SON鳥取の平井りえ会長・藤井省三評議員・中原利幸事務局長にもお越し戴き、卓球アスリート（競技者）はじめ、様々な職種のボランティアコーチとスタッフ等約40名の参加により、SON鳥取中部の活動スタートが出来ました。

現在のアスリートは、中部の障がい者（児）施設を中心に十数名が登録されています。今後、養護学校他各団体の御協力と御支援によりアスリートは徐々に増えています。

スペシャルオリンピックスはボランティアの手で支えられています。是非あなたの得意な“ちょっと”を貸してください。コーチ、事務局、送迎、応援等皆さんの出来ることを出来る時間でお手伝いください。「アスリート」「ボランティア」の活動に関心のある方、ご支援いただける方は下記まで連絡をお願いします。

【連絡先】 知的障害者援護施設 敬仁会館 総務課

(0858) 26-0480



SON 鳥取 平井りえ会長



練習の様子

【認知症予防の取り組み具体例】

<色読み>

みどり、あか、きいろ、あお
きいろ、あお、あか、みどり
あお、きいろ、みどり、あか

色を声に出して読んでみましょう。文字と色の違いに頭が動きます。

【連絡先】 知的障害者援護施設 敬仁会館 総務課

<簡単な計算>

3 + 4 = 4 - 2 =
2 + 1 = 5 - 1 =
5 + 2 = 7 - 2 =
8 + 1 = 3 - 1 =

簡単な計算を繰り返し、してみましょう。時間を計りかかった時間を比べて変化をみます。

<回想法>

昔を思い出して会話をしてみましょう。



高齢化社会が進む中、認知症と診断される人は今や65歳以上の15パーセント、2012年には462万人いるとの報告があり、早めの認知症予防が必要になってきます。

このような中、マグノリア地域包括支援センターでは、地域住民を対象に平成22年から認知症予防教室を行っています。今回その教室の取り組みを一部ご紹介いたします。継続していくことが認知症の改善と予防につながっていきます。生活の一部に取り入れてみられてはいかがでしょうか。

今日から使える豆知識

敬仁Powers, ナイターリーグ初優勝!

写真を差し込み予定。
(1/15 夕方撮影)

敬仁Powersについて

平成6年に活動開始。倉吉市のソフトボール大会・鳥取県の新聞社主催の軟式野球大会等への出場を経て、平成13年からは東郷町(現:湯梨浜町)ナイターリーグへ参加。以後、同ナイターリーグへの出場を中心に活動中。メンバーは現在20名。

皆さんは敬仁会で唯一クラブ活動を行っている軟式野球チーム『敬仁Powers(パワーズ)』をご存じでしょうか。実は平成6年から20年に渡って活動している歴史あるチームなのですが、その敬仁Powersが平成25年度湯梨浜町ナイターリーグで悲願の初優勝を達成しました。

今年は投打のバランスの取れたチーム編成で毎試合安定した試合運びを見せ、リーグ戦全7試合を6勝1分と見事な成績で栄冠に輝きました。

今後は鳥取県中部の内の4地区(湯梨浜・北条・大栄・琴浦)のトップリーグ優勝チームによるトーナメント戦『TCC-CUP』(来年3月開催予定)に湯梨浜町代表として出場します。

日々の仕事の合間を縫ってのクラブ活動ですので、人数が満員に集まらないことも多いですが、来年以降も良い成績を残せるようにメンバーで一致団結して頑張っていきます。

旬なカフェを楽しもう!

フルーツグラタン&みかん紅茶



市販のシュークリームを使った、とっても簡単な熱々フルーツグラタン。いつもの紅茶に一工夫したみかん紅茶と一緒に召し上がれ。あったかスイーツとドリンクで寒い冬を乗り切りましょう!

●材料

【フルーツグラタン】	【みかん紅茶】
・シュークリーム 1個	・紅茶ティーパック 1個
・お好みのフルーツ 適量	・みかん 1/2個
・粉砂糖 適量	・砂糖 適量

(はちみつでも可)

●作り方

【フルーツグラタン】

- ① シュークリームの上をナイフで切り取る。
- ② カットしたフルーツを入れ、スプーンで軽く混ぜる。
- ③ 茶こしを使って粉砂糖を多めにふりかける。
- ④ 230℃に予熱したオーブンで15分程度焼く。
- ⑤ オーブンから取出し、再び粉砂糖をかける。

【みかん紅茶】

- ① みかんの皮をむき横半分に切る。
- ② ティーカップに紅茶を作り好みで砂糖を入れ、①のみかんを浮かべる。
- ③ 電子レンジで1分程度加熱する
- ④ 少しずつみかんを潰しながら召し上がれ。

平成25年を振り返る

～平成25年重大ニュース（抜粋）～

① ル・ソラリオン綾瀬（仮称）建設工事着工

東京都足立区東綾瀬において、特養・保育合築施設の工事を着工した。平成27年4月開設を目指す。

② 山根地区道路整備事業着手

仁厚会病院側から敬仁会山根施設へのアクセス道路を再整備し、施設間の良好なアクセスを確保する。ル・ソラリオン入口進入路の取り付け角度を補正し、車両出入りの安全性を確保するための改修関連工事を実施する。

③ グループホーム琴浦（仮称）整備事業着手

琴浦町に障害者の地域生活の場を提供し、東伯郡中西部（北栄町、琴浦町）から西伯郡の一部（大山町）をエリアとした、地域の障害者福祉の向上に貢献する。

④ SON（ソナリティック日本）鳥取設立準備委員会活動参加

知的障がい者のためのスポーツ大会SON鳥取設立準備委員会が発足し、中部地区では卓球が開始予定。敬仁会では競技を通して、アスリートの方の自立や社会参加を促進することを応援していく。

⑤ 喀痰吸引等実施できる職員の養成

今年度も鳥取県より喀痰吸引等研修事業を受託。また登録研修機関となり法人事業として実施。より多くの介護職員のスキルアップを目指し、安全なサービス提供を行う。

⑥ 外部監査（レビュー）の実施

法人外部の専門家（公認会計士）による決算書等のチェックを通じて、法人運営の適切性と透明化を確保する。

⑦ 災害時における要援護者の一時避難のための施設利用に関する協定書締結

ソラリオン名和、ソラリオン葛飾、県中部施設が、災害時の避難所として高齢者・障害者・妊婦等の要援護者の受入を行う協定書を締結。

⑧ 在宅加算の取得、訪問リハビリテーション開始

2老健が在宅復帰・在宅療養支援機能加算の取得が可能となる。サンテリオンでは訪問リハビリテーションを開始し、ご利用者の在宅生活をサポートする。

編集後記

あけまして おめでとうございます。今年の年末年始休暇はどの企業におきましても、例年より大型連休だったのではないのでしょうか。年末には新年を迎える準備で大忙しでしたが、年始は家でゆっくりおせちをつつきながら、おいしいお酒を飲んで、すっかり身体は一回り大きくなったような気がします。しっかり休んだ分、年始から多忙な毎日を過ごしておりますが、年度末に向けて、さらに頑張っていきますので、今年もどうぞよろしく願いいたします。

施設住所